

基本
業務

①SDGs・ESDコンシェルジュ
(ワンストップ相談対応によるローカルSDGs実現に向けた取組の支援)

【ワンストップ相談対応の拡充】

- ・地域循環共生圏、地域脱炭素の推進に関する情報を、環境省や独自の情報収集手法から蓄積・キャッチし、マッチングや相談対応を強化。
- ・幅広い情報収集を基盤として、地域脱炭素の推進、環境教育に有効活用できるツールをストックし、相談者の意向に沿った提案を行う。
- ・コンシェルジュ機能、各支援を行った事例をカルテにストックし、連携促進の基盤づくり。
- ・取組をさらに発信へとつなげ、コンシェルジュサイクルを効果的に展開させる。



相談者からの問合せ
(メール・電話・訪問)



相談内容のヒアリング



対応の検討



フィードバック

発信等の依頼であれば、ウェブ・メルマガでの対応

企画対応や、即答が難しい案件についてはオフィス内にて検討

EPOもしくはセンターいずれかでの対応を含めて回答や打合せ等の提案

対応内容によって関わり方を調整
 ・講師対応
 ・プロジェクトレベルでの助言
 ・プログラム企画への関与
 ・事業費を伴う企画の場合は、外部資金扱いとして企画提案。

業務概要

基本
業務

R5年度のコンシェルジュ対応状況 (主な相談案件)

【福岡県】

大牟田市教育委員会ESD交流会共催
ESD先進地視察受け入れ調整

【佐賀県】

佐賀商工会議所 脱炭素経営セミナー開催協力

【長崎県】

観光事業者等対象のSDGs研修講師依頼

【大分県】

気候変動ユースワークショップ講師依頼

【熊本県】

自治体 地域住民SDGs研修企画相談
水俣環境アカデミアとの企画連携相談
農業高校生徒対象SDGs学習講師依頼
熊本市立必由館高校改革推進に向けた委員協力

【宮崎県】

宮崎市教育委員会 教員対象SDGs講師依頼
トヨタ財団助成金説明会企画協力

【鹿児島県】

屋久島町教育委員会 ESD担当者研修講師依頼

その他、各種委員会委員、各主体による情報発信の協力依頼

業務概要

②複合的な情報の収集・発信

(キュレーション型の情報発信)

情報発信基盤のアップデート

- ・今年度ウェブサイトの再構築を行い、発信基盤を強化。
- ・引き続き幅広い情報収集、地域脱炭素の推進、環境教育に有効活用できるツールをストックしキュレーション型の情報発信。
- ・各種リーフレットのアップデート。SDGs未来都市情報、SDGs事例の強化。
- ・温暖化センター等と連携し、リアル開催のイベント等への出展と現場コミュニケーションの重視。



企画 島しょ地域情報交換会の開催（第2四半期）

島しょ地域において先進的な取り組みを進める自治体（SDGs未来都市、脱炭素先行地域）や、活動団体（地域循環共生圏活動団体、地域ESD拠点）、ビジターセンター等との情報交換の機会を設け、島しょ地域情報交流会（オンライン）を開催し情報連携に向けたネットワークづくりを行う。

また、島しょ地域ならではの中間支援のニーズやあり方についても意見交換を行う。

企画にあたっては、九州地方環境事務所・沖縄奄美環境事務所担当官と協議し照会先等の連携について調整を行う。

コンシェルジュ展開事例 熊本日日新聞社との連携

相談内容

- ・新聞社80周年プロジェクトへの監修・助言を依頼。
- ・SDGsの視点を活かした地域の掘り下げ方
- ・SDGsアワードの企画
- ・タウンペーパー特集の継続対応

【EPO九州の対応】

- ・年間のテーマ設定を検討し、地域密着目線の提案
- ・月次特集のテーマ設定掘り下げ、テーマに応じた専門家の紹介
- ・アワード等個別企画へ委員等の推薦、他地域事例の紹介



取扱ったテーマ・話題
2021：弁護士会、社会福祉・自立支援、ユース、脱炭素

2022：フェアトレード、公共交通、イ草・農業、海の豊かさ・有明海保全、江津湖と生態系保全、ジェンダー、みなまたとESD、脱炭素広域連携、阿蘇の草原活用、年間総括

2020

タウンペーパー特集記事監修、生活目線のSDGs

特集記事から派生

2021

タウンペーパーSDGs特集号監修
朝刊特集（5回）監修

2022

タウンペーパーSDGs特集記事監修
朝刊特集監修
（年12回）

COOP会員誌連載

2023

タウンペーパー、朝刊特集記事の継続

くまもとSDGsアワードへの協力

メディア連携によるSDGs活用事例実績としてさらに発信

菊池農業高校SDGs講座展開→全校的な啓発・実践
→国連食料システムサミットでのアピールなど多面発信→SDGsみらい甲子園優秀賞